

「情報公開文書」

研究課題名：血管内超音波ガイド下経皮的冠動脈形成術を受けた患者における Geriatric Nutritional Risk Index および好中球リンパ球比と 1 年後 NT-proBNP 値の関連：単独指標と併用指標の比較 単施設後ろ向き観察研究

倫理審査担当：

社会医療法人青仁会池田病院 倫理審査委員会

承認日：西暦 2026 年 6 月 18 日 承認番号：080601

国際医療福祉大学 九州地区倫理審査委員会

承認日：西暦 2026 年 8 月 28 日 承認番号：26-KS-014

研究期間：西暦 2026 年 8 月 28 日～西暦 2030 年 3 月 31 日

1. 研究の対象

2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日までに、当院で血管内超音波補助下に心臓カテーテル治療を受けた 20 歳以上の方。

2. 研究目的・方法

冠動脈に対するカテーテル治療(経皮的冠動脈形成術)の後も、心臓に負担が残る患者さんがいます。NT-proBNP は心臓への負担や心不全の状態を評価するために診療で用いられる血液検査です。本研究では、カテーテル治療前の栄養状態を表す Geriatric Nutritional Risk Index と、炎症の程度を表す好中球リンパ球比が、カテーテル治療後 1 年時点の NT-proBNP 値と関係するかを調べます。

この研究により、カテーテル治療後に心臓への負担が残りやすい患者さんを、通常診療で得られる検査値から早めに把握できる可能性があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録、検査記録、カテーテル治療記録などから、以下の情報を使用します。研究目的で新たな検査を行うことはありません。

- ・年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴などの基本情報。
- ・高血圧、糖尿病、腎臓病、心房細動、心不全の既往などの病歴。
- ・血液検査値：アルブミン、白血球分画、好中球数、リンパ球数、NT-proBNP、腎機能、貧血指標など。
- ・心臓超音波検査の結果、内服薬、カテーテル治療の内容、治療後の経過。
- ・カテーテル治療後 5 年までの心不全入院、心血管死亡、再入院などの情報。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するお問い合わせ（本研究への協力に同意されない場合を含む）連絡先：

鹿児島県鹿屋市下祓川町 1830

0994-43-3434

循環器内科医師 神園 悠介

研究責任者：

国際医療福祉大学大学院 医学研究科 教授 岸 拓弥